

協議会の紹介

高圧ガスは、工業用、産業用及び民生用の原材料あるいは、エネルギー等として幅広く利用され、国民生活に欠くことのできない重要な役割を果たしています。千葉県内においても、臨海部及び内陸部の工業立地の進展に伴い、高圧ガスの取扱量が飛躍的に増大してきました。これら高圧ガスはタンクローリ及びボンベ等により大量に輸送されていますが、県内道路の交通量の増加により交通事故等による高圧ガス災害の発生が予想され、交通事故が路上で発生した場合は、周辺住民等にも直接被害が及び可能性があります。こうした災害の発生とその拡大を防止するためには、事故の迅速な通報と的確な応急措置が何よりも重要になります。

千葉県では、このような趣旨に沿って、(社)千葉県高圧ガス保安協会、(社)千葉県エルピーガス協会、千葉県冷凍設備保安協会、千葉県高圧ガス流通保安協会の4団体が連合体組織として独立した「千葉県高圧ガス地域防災協議会」を設立しています。

当協議会の目的は、地域防災体制を確立し、高圧ガスの移動等に係る災害の発生または拡大の防止を図り、もって公共の安全確保に寄与することであり、高圧ガスの輸送時に災害が発生し、消防機関、警察及び必要に応じ県保安課から応援要請があった場合に、あらかじめ指定された防災事業所から防災要員を出動させ、防災活動に必要な助言と処置を行うこととなっております。

このたび「千葉県高圧地域防災協議会ホームページ」開設にあたり、防災要員が災害事故現場の消防機関または警察署の指揮下に入った際の任務と留意事項等、実際の防災活動に活用していただき、応援業務が適確に実施されるようお願いいたします。

2011年3月

千葉県高圧ガス地域防災協議会